令和８年８月３１日

保護者様

熊本市立託麻東小学校
校長　酒井　志郎

通知表の見方について

１　観点別評価について　≪　◎よくできる、◎できる、○もう少し　≫

①　知識・技能　②思考・判断・表現　③主体的に学習に取り組む態度

・　「主体的に学習に取り組む態度」は「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を身に付けるために、自分の学習状況を振り返り、めあてに向けて学習の進め方を調整しながら粘り強く取り組むことを評価していきます。例えば、高学年の国語科「作文」においては、学習のねらいに沿って、筋道の通った文章構成になるように試行錯誤しながら書き表し方を工夫しているかを見取っていきます。
・　各教科の学習内容に応じて観点別の評価規準を設定し、その規準に対する状況を評価します。評価にあたっては、テストの結果だけでなく、提出物・ノート等の記述、授業中の様子、学習における友達との関わりなど、様々な面から評価をしていきます。
・　学習のねらいにどれくらい到達しているかという評価（絶対評価）を中心とし、日常の学習状況を加味して評価します。

※１年生の前期は「できる◎」「もう少し○」の２段階で評価を行っています。

２　評定について　≪　Ａ　Ｂ　Ｃ　≫　【３～６年のみ】

観点別評価をもとにして、教科ごとに、総合的に評定します。３年生以上の学年で記入します。（５・６年生においては、外国語においても評定します。）

３　外国語活動の記録【３・４年】・総合的な学習の時間の評価【３～６年】

１学期の学習内容を、文章で記入します。

４　特別の教科　道徳

１学期の学習内容を、文章で記入します。

５　特別活動

観点に照らして、よくできる（◎）、できる（○）として表します。学級活動は学期ごとに、児童会活動【５・６年】・クラブ活動【４～６年のみ】・学校行事は年度末に評価します。

６　通信

今回は、担任から見たお子様の総合的な様子や期待することなどについて、面談でお伝えいたします。

通知表をご覧になりましたらファイルから取り出し、家庭からの通信欄に押印後、またファイルの中に入れて、面談時にご返却ください。家庭からの通信欄へのご記入は自由です。記入される場合は、お子様の様子や期待することなどについてお書きください。

※　通知表は、お子様の学力と生活向上のためにあります。お子様とともにご覧になり、賞賛と励ましの材料として、お子様の意欲につながるようご活用ください。

※　今回(前期）配付しました通知表においては、システム上、用紙上側に「１学期」・「２学期」と記されておりますが、この表記は「前期」と読みかえてください。但し、右側のページの「出欠の記録」は、１学期の出欠の記録となります。